

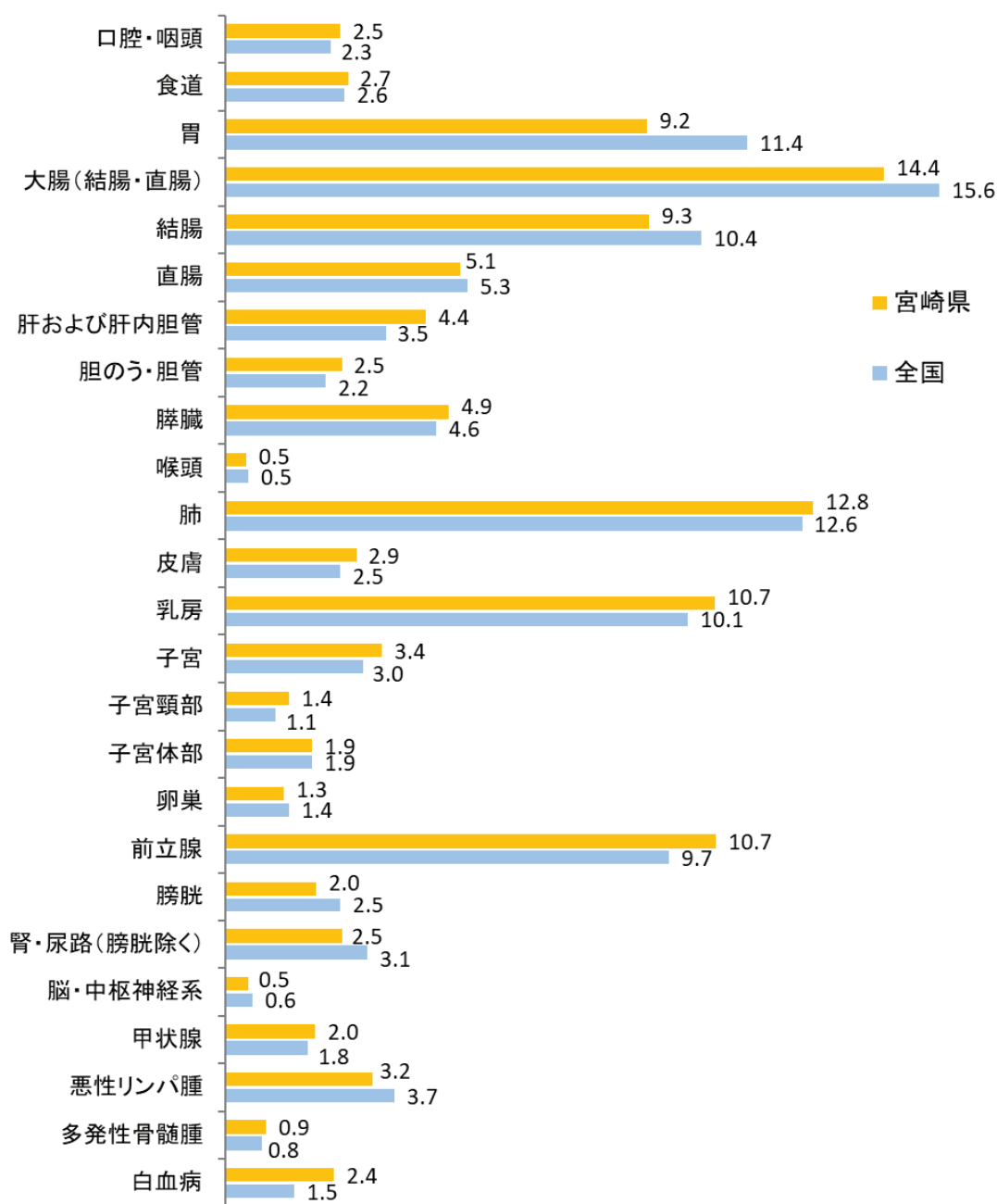
## 4 2021 年がん罹患の概要

(1) 全体の概要 : 表 1-A (上皮内がんを除く) から作成

2021 年宮崎県のがん罹患数は、男性 4,514 件、女性 3,623 件の、合計 8,137 件であった。

総計より、最も多いがんの発生部位は大腸(結腸・直腸)であり 14.4%、肺 12.8%、乳房 10.7% 前立腺 10.7%と続く。男性では、前立腺 19.3%、大腸(結腸・直腸) 15.2%、肺 14.7%、胃 11.3%であり、女性では、乳房 23.8%、大腸(結腸・直腸) 13.3%、肺 10.5%、子宮 7.7%であった。

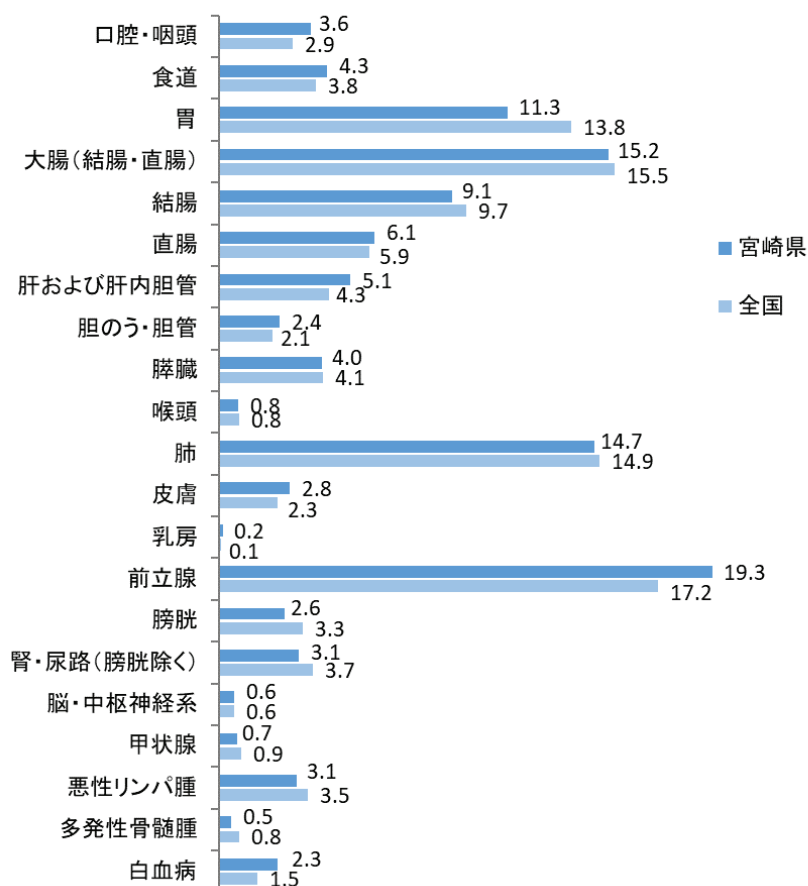
2021 年罹患部位別割合(%) (全国比較)



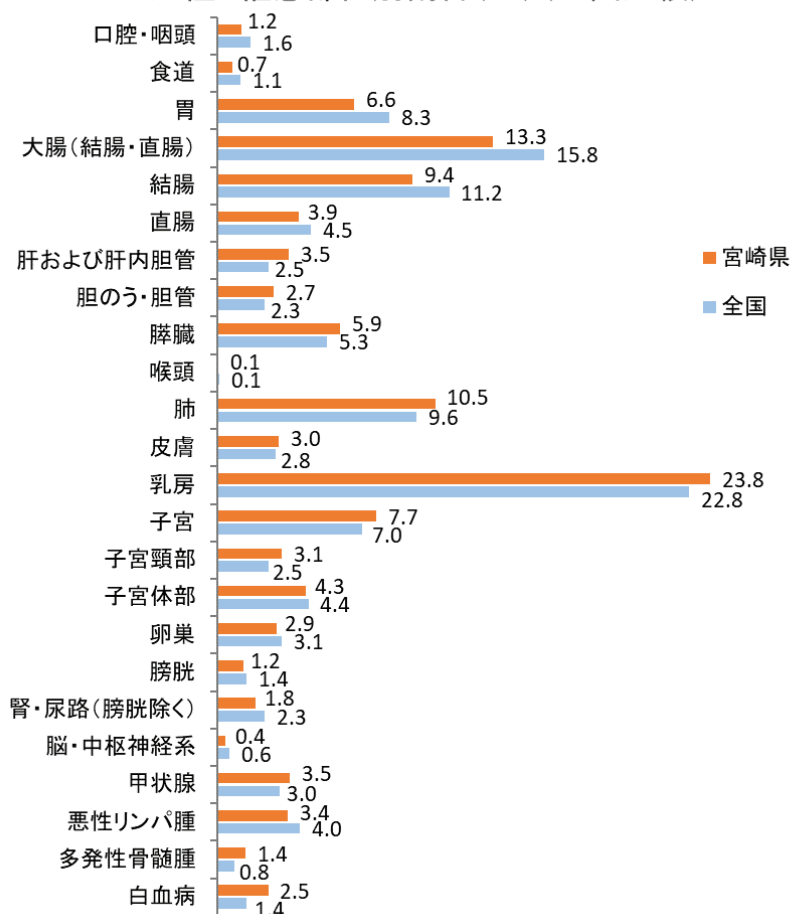
出典：全国値は、

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課「全国がん登録 罹患数・率報告 2021 年」から抜粋

### 男性 罹患部位別割合(%) (全国比較)



### 女性 罹患部位別割合(%) (全国比較)

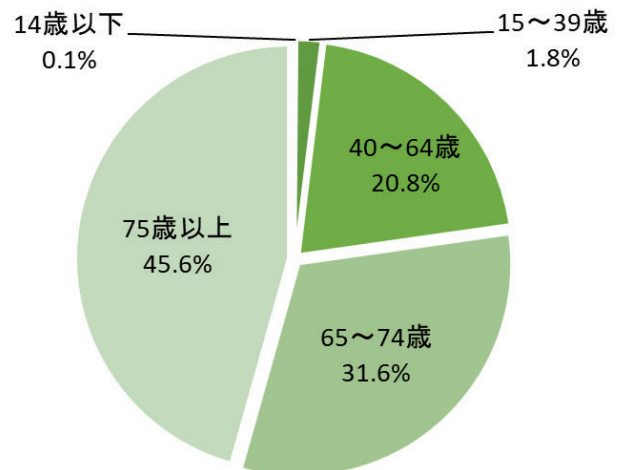


(2) 年齢階級別に見たがんの罹患 : 表 2-A (上皮内がんを除く) から作成

年齢階級別にみると、75 歳以上の割合は全体では 45.6%、男性 46.4%、女性 44.7%であった。働き盛りの 40～64 歳では、男性 16.2%、女性 26.5%を占めている。男性の 55 歳から前立腺癌、女性の 35 歳から乳癌の罹患数がそれぞれ増加している。

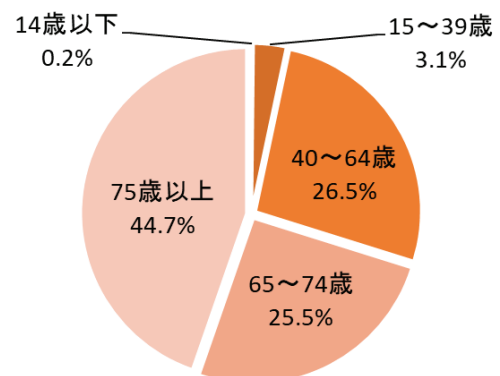
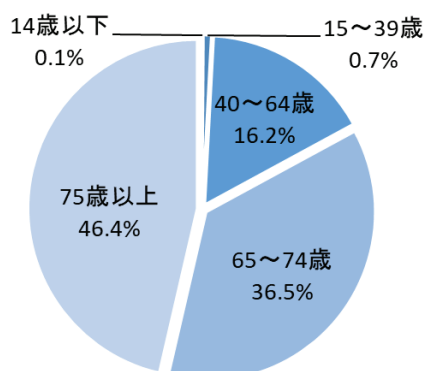
大腸がんは 45 歳から、また肺がんは 55 歳から徐々に多くなっている。

| 全体(件)  |       |
|--------|-------|
| 14歳以下  | 11    |
| 15～39歳 | 147   |
| 40～64歳 | 1,694 |
| 65～74歳 | 2,572 |
| 75歳以上  | 3,713 |
| 合計     | 8,137 |



| 男性(件)  |       |
|--------|-------|
| 14歳以下  | 5     |
| 15～39歳 | 33    |
| 40～64歳 | 733   |
| 65～74歳 | 1,649 |
| 75歳以上  | 2,094 |
| 合計     | 4,514 |

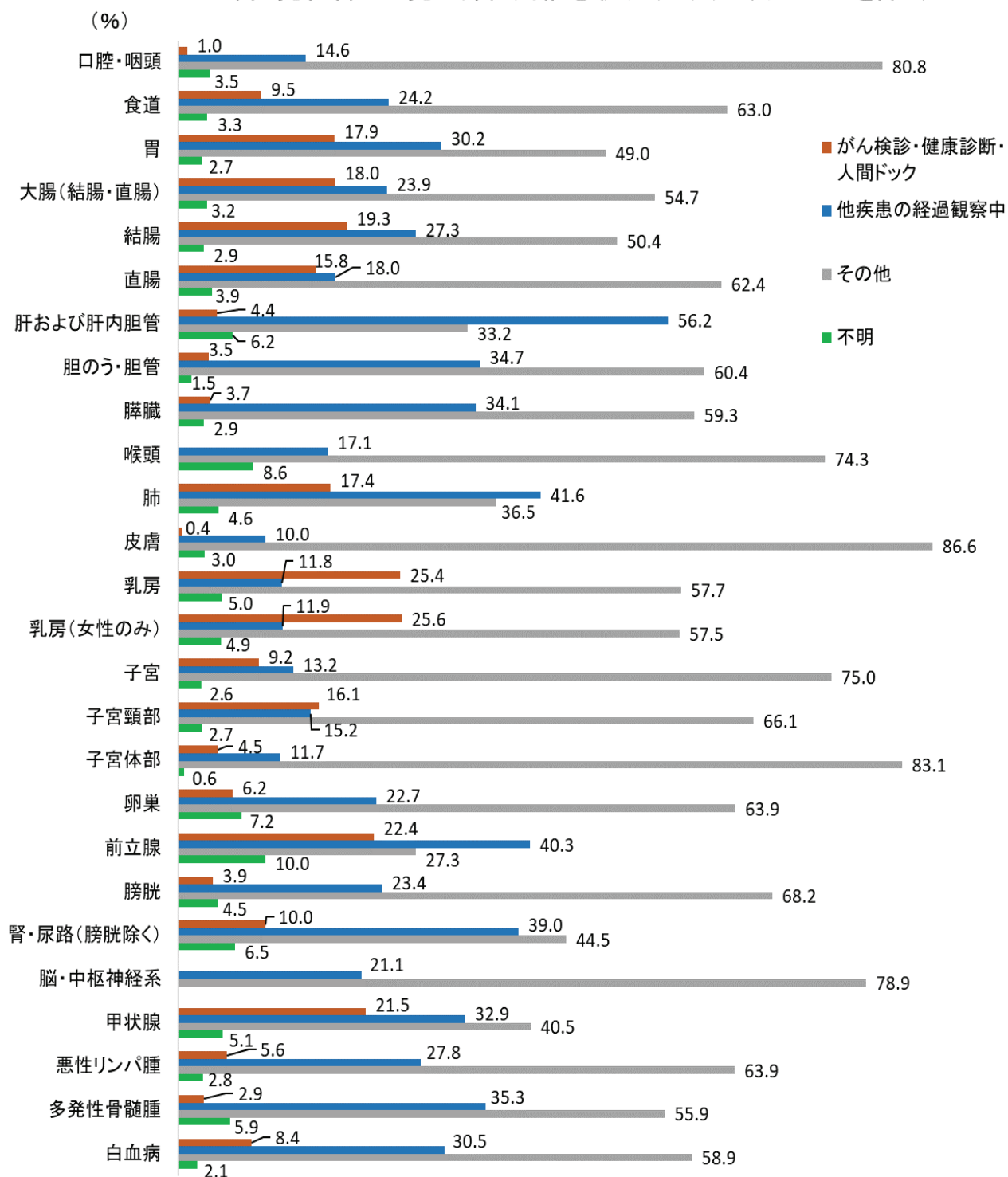
| 女性(件)  |       |
|--------|-------|
| 14歳以下  | 6     |
| 15～39歳 | 114   |
| 40～64歳 | 961   |
| 65～74歳 | 923   |
| 75歳以上  | 1,619 |
| 合計     | 3,623 |



(3) 発見経緯から見たがんの罹患 : 表 4-A (上皮内がんを除く) から作成

部位別に見ると、肝および肝内胆管、肺、前立腺は「他疾患の経過観察中」に発見された割合が高く、その他の部位は「その他(症状受診含む)」で発見された割合が高かった。また、「がん検診・健康診断・人間ドック」を見ると乳房および前立腺、甲状腺、子宮頸部の発見割合が高かった。

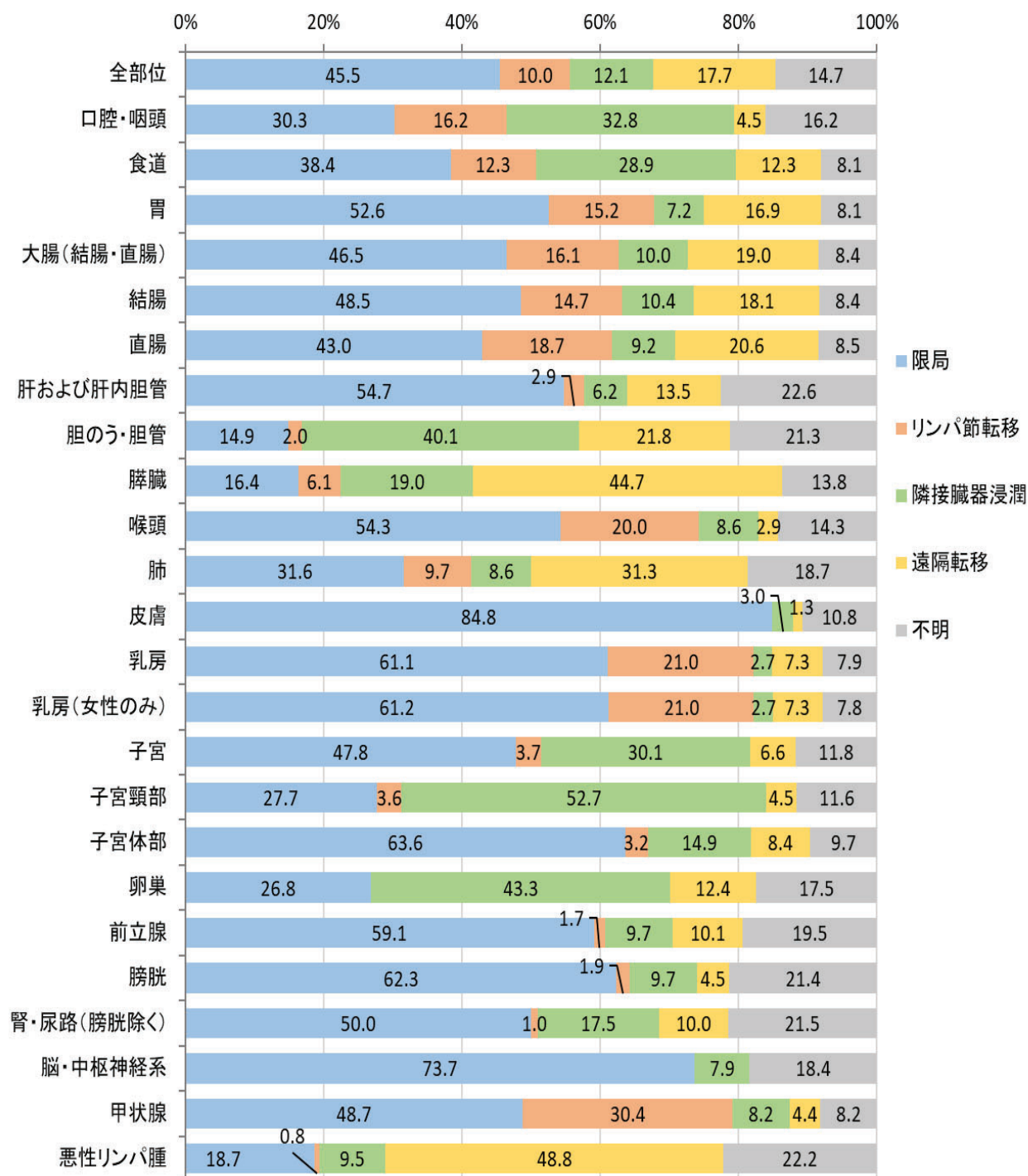
2021年発見経緯から見た部位別罹患状況(%) (上皮内がんを除く)



(4) 進展度分布から見たがんの罹患 : 表 5-1-A (上皮内がんを除く) から作成

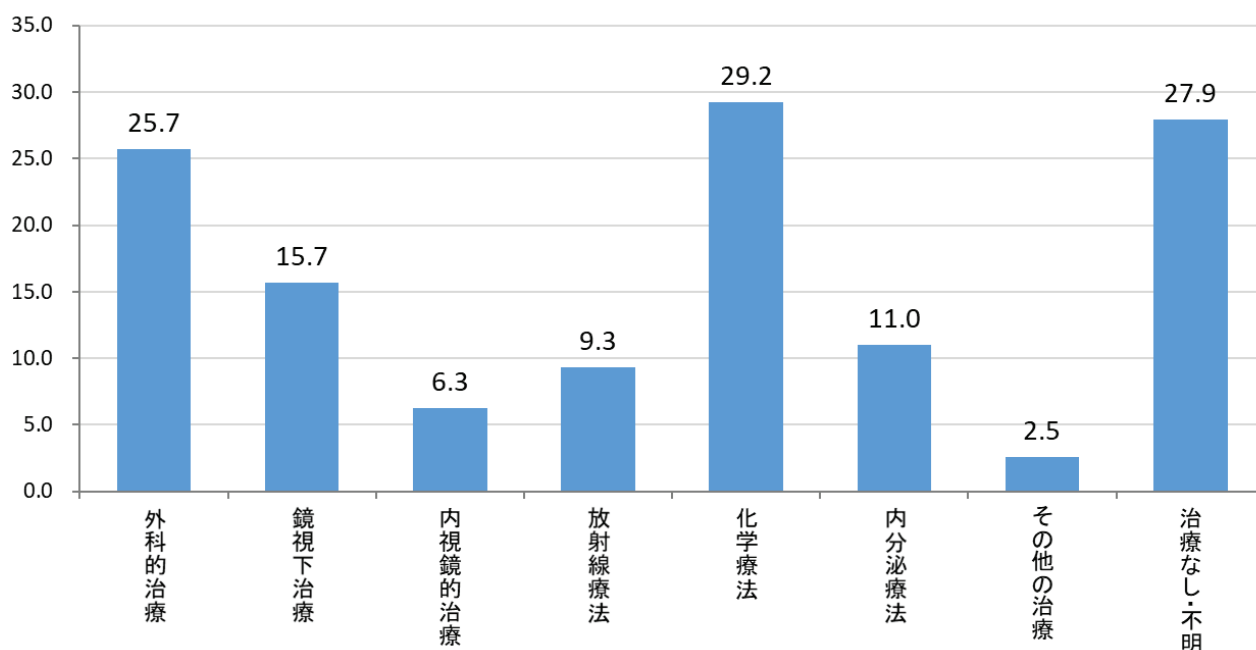
全部位の進展度を見ると、限局 45.5%、リンパ節転移 10.0%、隣接臓器浸潤 12.1%、遠隔転移 17.7%、不明 14.7%であった。限局の割合が 50.0%以上の部位は、胃、肝および肝内胆管、喉頭、皮膚、乳房、子宮体部、前立腺、膀胱、腎・尿路(膀胱除く) および脳・中枢神経系であった。

2021年進展度分布から見た部位別罹患状況(%) (上皮内がんを除く)



(5) 初回治療内容から見たがんの罹患：表 6-A（上皮内がんを除く）表 6-B（含む）から作成  
 上皮内がんを除く全部位の初回治療内容を見ると、外科的 25.7%、鏡視下 15.7%、内視鏡的 6.3%であった。また、放射線療法 9.3%、化学療法 29.2%、内分泌療法 11.0%であった。上皮内がんを除く、含むともにそれぞれ重複を含むため合計は 100%にはならない。

2021年初回治療内容 全部位7897件の割合(%) (上皮内がんを除く)



2021年初回治療内容 全部位8603件の割合(%) (上皮内がんを含む)

